

日頃の活動の成果を披露 虻田町総合文化祭

2005 虻田町総合文化祭（虻田町文化団体連絡協議会主催）が、10月29日から3週間の日程で、展示部門、ステージ部門、箏や吹奏楽団の演奏会に分かれて繰り広げられました。母と子の館では、今年も各サークルが丹精込めた作品を展示。絵画、書道、パッチワーク、菊花などが所狭し並べられ、訪れた人らの目を惹きました。

ステージの部門は、ふれ合いセンターで開かれ、カラオケ、舞踊、民謡などが2日間にわたって披露されました。両日とも会場は超満員の大盛況で出演者は客席からの大声援を受け、気持ちよく演じていました。



展示品に見入る入場者

町の緑化を推進 町民植樹祭

虻田町みどりの町づくり委員会（伊藤博会長）主催の町民植樹祭が、10月23日泉の板谷川砂防施設で行われ、町民約100人が参加し、こころよい汗を流しました。

今年も東三郎北大名誉教授の指導で、カミネツコンという育苗ポットを作成し、虻田婦人団体連絡協議会からの寄贈と町で用意したシラカバ、ミズナラ、ヤナギ、ハンノキ、カエデなどの苗木230本を同ポットに移植。この後砂防施設の斜面に大きく育つことを願って全員で



ポットを並べました。

カミネツコン作りに精を出す参加者

○まちなわだい○

税の作文コンクールで 5人が見事入選果たす

全 国納税貯蓄組合連合会主催の「中学生による税の作文コンクール」に虻田・洞爺湖温泉中学校より147編の応募があり、5名の生徒が入選しました。このコンクールは租税教育推



表彰を受けた虻田中学校の生徒

進活動の一環として毎年開催されており、今年で39回目。11月11日から始まる「税を考える週間」の初日に両校で表彰式が行なわれ、虻田町納貯連の大西填大会長、木村利正教育長から賞状や記念品が贈られました。

受賞者は次のとおり。（敬称略）
▽虻田町長賞・田仁智香（虻中3年）
▽虻田町教育長賞・高清水麻衣（虻中2年）
▽虻田町納税貯蓄組合連会長賞・小山瑠衣（温中1年）
▽同優秀賞・浜田恵（虻中2年）
▽同優秀賞・伊藤菜央（虻中1年）

日頃の成果を父母に披露 虻田小学校学芸会

11月30日虻田小学校で、学芸会が開催され、日ごろの学習の成果をお父さんやお母さんに披露しました。

学芸会は、2部に分かれ、前



『おばけ地蔵』を演じる2年生

半の部のオープニングは、1年生の「ジブリメドレー」。続いて2年生によるユーモアたっぷりの劇「おばけ地蔵」、前半最後は、5年生による迫力満点の「虻小ソーラン踊り」と器楽演奏が行われました。

休憩をはさんで後半は4年生の音楽劇「ごんぎつね」で幕開け。3年生の「木星」の楽器演奏と「大きな古時計」などの合唱が続ぎ、最後に6年生が平和への想いを伝える、劇「お母さんの木」を演じ、好評のうちに学芸会の幕を閉じました。